

いのちをまもるPARTNERS
医療安全全国共同行動

医療安全全国共同行動 “いのちをまもるパートナーズ”に ぜひご参加ください

参加登録施設・医療安全レポート個人登録者・会員 募集中!

医療安全全国共同行動“いのちをまもるパートナーズ”とは…

患者さんの安全を守り、患者さんと医療者がともに安心して治療やケアに専念できる医療環境づくりを促進するために、日本の医療を支える全国の医療機関・医療従事者・医療団体が、施設や職種、専門の壁を超えて、力を合わせて、安全の実現をめざす、医療界初の共同事業です。医療安全全国共同行動は2008年に発足し、その活動をさらに推進し、継続発展させるため、2013年に「一般社団法人 医療安全全国共同行動」が設立されました。



医療安全全国共同行動 議長
小泉 俊三

医療安全全国共同行動の活動

1. 医療事故をなくすための組織的な改善活動
2. 病院の取り組みに対する技術的支援
3. 地域での医療安全活動の交流・普及
4. 改善に取り組む病院を広げる活動
5. 見える化 [達成指標・対策の浸透度]

紹介動画

https://kyodokodo.jp/about/introduction_video/



(一社) 医療安全全国共同行動の設立呼びかけ団体

日本医師会 日本歯科医師会 日本看護協会 日本薬剤師会 日本臨床工学技士会 医療の質・安全学会

患者安全・医療安全に取り組むための行動計画を掲げています



当法人設立以来活動の柱としてきた「行動目標（11項目）」を、患者安全の新しい時代を率先して牽引し、医療現場における安全管理対策の充実を図るべく、抜本的な見直しを行い、2024年度から「患者安全行動計画（NPSAP, National Patient Safety Action Plan）」として8分野（12項目）の「行動計画」を策定しました。

安全の達成に向けて支援しています

医療安全全国共同行動では70名を超える多職種・多分野の専門家の方々がボランティアで支援活動に従事、セミナーやワークショップ、さらにホームページを通じて医療安全に取り組む医療機関を支援しています。

(※印は限定公開となっています)

●研修会やセミナー、ワークショップを開催しています

■医療安全全国共同行動オンラインセミナー

ホームページから開催案内や報告がご覧になれます。

オンラインセミナーは、2024年4月から開始した「患者安全行動計画(NPSAP; National Patient Safety Action Plan)の12の行動計画担当者が月替わりで最新の取り組み等をご紹介します。

テーマ：転倒転落問題を考えよう！



講師：
杉山 良子

医療安全全国共同行動企画委員
/バラムウントペイト(株)経営企画本部 顧問/看護師

第1回オンラインセミナー(2023年9月)

■ImSAFER®分析研修2日間コース

ImSAFER®は、ヒューマンエラーが関係した事象分析手法で、医療現場で利用することを主目的としています。第一人者の河野龍太郎の監修の下、改善に結びつく原因追及と対策立案を後押しします。

■PICC(Peripherally Inserted Central Catheter)プラクティショナーコース

PICC(末梢挿入式中心静脈カテーテル)は、臨床現場での活用が拡大しています。この研修は、日本医学シミュレーション学会共催の下、これからPICCを留置する方からPICC留置に壁を体感されている方まで広く対象として、実践的な学びの場を提供します。

■RRS(Rapid Response System)セミナー

診療報酬では、急性期充実体制加算の施設基準に「入院患者の急変徴候をとらえて対応する体制(RRS)の導入」が組み入れられています。この研修は、RRS体制(入院患者の急変に迅速に対応する体制)の構築のための「所定研修」に該当する内容で開催しています。

■医療安全管理者養成研修

医療安全対策加算・報告書管理体制加算の施設基準「医療安全対策に係る適切な研修」に対応したeラーニングとオンライン演習による研修会です。医療の質や安全確保の中核的な役割を担う医療安全管理者、またはその任に該当する人材の養成に最適です。



各種研修会に関する
詳細な情報はこちら

●「患者安全・医療安全実践ハンドブック」

医療安全全国共同行動が掲げる11の行動目標について、最新情報に基づく推奨対策と実践方法をわかりやすくまとめました。医療安全管理者必携！

■医療安全全国共同行動
技術支援部会編/B5判/
オールカラー/384ページ
定価 [本体 3,500円+税]
2022年



*詳細はホームページを
ご参照ください
(https://kvodokodo.jp/handbook_annai/)

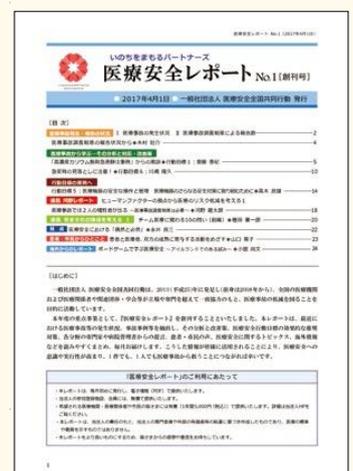
●「医療安全レポート」を毎月発行*

医療安全に取り組むために役立つ情報や知識、提言を読みやすくまとめ、専門性と実用性を備えた読み応えのある記事を毎月お届けします。執筆は、共同行動の行動計画推進部会委員はじめ各分野の有識者が担当。

■A4判 20~28頁/毎月1
回発行/PDF形式にてHPに
掲載

■申込み方法：下記のい
ずれかにご登録ください
参加登録施設/医療安全
レポート利用等個人登録
者/正会員・賛助会員
(当パンフレットp.3参照)

*ホームページより創刊
号を試読いただけます



病院、診療所・薬局・訪問看護ステーションなど医療機関の皆さまへ ぜひ「参加登録施設」に登録ください

医療安全全国共同行動“いのちをまもるパートナーズ”にぜひご参加いただき、行動計画の実現と経験・教訓の共有にご協力をお願いいたします。参加登録をしていただいた施設には、行動計画への取り組みをさまざまな形で支援します。

特典

- 「医療安全レポート」の閲覧（毎月1回発行/A4判 20～28ページ）
- 支援ツールの閲覧・利用（行動目標実現のためのツールキットやハウツーガイド）
- フォーラム、セミナーの限定公開動画や資料の閲覧
- ねっとライブラリーの利用（医療安全ツールの共有）
- メーリングリストへの参加（情報・意見交換、質問、相談等可能）
- アドバイザーへの相談・質問
- 参加登録証の院内掲示（A4判）
- 共同行動のバナーやロゴマークの使用（施設のHPなどに掲載可能）
- 研修・セミナー等の優先申込や受講料割引
- 施設名公表（共同行動HPやパンフレットに掲載）

- 年間登録費用 *1カ年は4月～翌年3月、金額は税込
〈病院〉1カ年/4万円(200床以上)
1カ年/2万円(200床未満)
〈診療所、薬局等〉1カ年/5千円

- 参加登録方法
ホームページの「登録・加入はこちら」バナーからお手続きください。
<https://kyodokodo.jp/tourokuannai> *年度途中でも登録できます。



【参加登録証】貴施設内に掲示していただけます

医療従事者、医療安全に取り組む皆さまへ ぜひ「医療安全レポート利用等個人登録者」にご登録ください

特典

- 「医療安全レポート」の閲覧（毎月1回発行/A4判 20～28ページ）
- 支援ツールの閲覧・利用
- 研修・セミナー等の優先申込や受講料割引
- 年間登録費用 1カ年 5千円 *1カ年は4月～翌年3月、金額は税込
- 個人登録方法 ホームページの「登録・加入はこちら」バナーからお手続きください。



「医療安全レポート」

医療を支える団体、学会、企業、個人の皆さまへ ぜひ「会員」として事業の推進にご協力をお願いします

正会員

団体または学会は正会員として会費を納入していただくことにより共同行動社員総会に出席し、役員の選任や事業内容等の重要な意思決定に加わることができます。また、登録者は「医療安全レポート」や限定公開資料等の利用ができ、全国フォーラム、シンポジウム等に会員割引にて参加できます。

- 年会費 団体、学会：1口 5万円（1口以上）

賛助会員

賛助会員は団体、企業、個人が共同行動の事業を賛助するために入会していただくものです。賛助会員は「医療安全レポート」の無料閲覧、支援ツールの利用ができ、共同行動のホームページやパンフレット等に名称を掲載いたします。全国フォーラム、シンポジウム等に会員割引にて参加できます。

- 年会費 団体、企業：1口 10万円（1口以上） 個人：1口 2万円（1口以上）

入会のお願い

共同行動の事業は定款により、患者さんの安全を守り、患者さんと医療者が安心して治療に専念できる環境作りを目的として活動しています。こうした事業活動はおもに会費と寄付金収入によって運営されております。今後の事業の継続、発展には会費収入が不可欠であり、皆さまの入会をぜひともお願いいたします。

- 申込方法 事務局（secretariatpartners@kyodokodo.jp）へ入会申込書をご送付ください。
※詳細はホームページの「登録・加入はこちら」をご覧ください。

医療安全全国共同行動のあゆみ

- 2008-2012年 医療安全全国共同行動 “いのちをまもるパートナーズ” 発足。
全国各地でフォーラム・シンポジウムを開催。
肺塞栓予防国際フォーラム（京都）開催。
全国規模の地域活動と啓発を推進。
- 2013-2017年 一般社団法人 医療安全全国共同行動 設立。
医療事故調査制度に関連する支援団体指定と研修活動開始。
医療安全研修（チームトレーニング、ヒューマンエラー分析等）を全国展開。
『医療安全レポート』創刊。
- 2018-2022年 医療安全研修にe-ラーニング併用方式を導入。
地域キャラバン型研修を開始。
コロナ禍対応として、管理者研修・全国フォーラムをオンライン開催へ移行。
『患者安全・医療安全 実践ハンドブック』を出版。RRSセミナー、PICCプラクティショナーコースを開始。
- 2023年 医療安全管理者養成研修～e-ラーニング+オンライン演習併用方式～を開催。
RRSセミナーオンライン開催。
PICCプラクティショナーコースを東京で開催。新行動計画に向けたオンラインセミナー開催。医療安全全国フォーラムをオンラインで開催。



医療安全全国フォーラム（2011年）



医療安全全国フォーラムの特別講演より
左上 W・A・コンウェイ医師(2008年)
右上 フライアン・ジャーマン卿(2009年)
左下 ギュンター・ヨーニッツ氏(2009年)
右下 李啓充氏(2010年)



第1回ベストアクション
発表・授賞式(2024年)



第1回ベストアクション受賞者
右上 齋藤 拓朗氏(福島県立医科大学
会津医療センター)
左上 塩津 昭子氏(倉敷中央病院)
右下 安部 静子氏(大分大学医学部附属病院)
左下 坂下 絵美子氏(稲沢市民病院)

2024年 患者安全行動計画（8分野12項目）始動

行動計画	内容	
1 患者の権利と安全確保	患者中心性、共同意思決定（Shared decision making: SDM）、Patient Engagement、Videos-IC、Patient Experience (PX)、診療録共有 等	
2 診断・治療選択における安全確保	診断エラー・診断エクセレンス、画像・病理診断レポート管理、アナフィラキシーの診断治療 等	
3 確認業務の安全確保	患者確認、重要情報の伝達・引継ぎ、ダブルチェック、6Rによる確認 等	
4 診療・治療行為における安全確保	a 医薬品使用における安全確保	ハイアラート薬の管理、内服薬自己管理、名称類似・外観類似 等
	b 医療機器・医療材料使用における安全確保	輸液ポンプ、ライン・チューブ・CVC 等
	c 検査行為における安全確保	採血行為、検体検査の管理 等
	d 侵襲的医療行為における安全確保	周術期の安全管理、麻酔の安全管理、侵襲的医療行為の安全管理、手術自体の安全管理 等
	e 診療用放射線使用における安全確保	放射線過少・過剰照射防止、被ばくの最適化 等
5 経過観察・急変対応における安全確保	EWS、RRS、コードブルー 等	
6 療養における安全確保	転倒・転落、院内感染対策、非周術期の血栓予防、栄養・食事介助 等	
7 診療記録と安全確保	電子カルテ、医療DXと安全、診療録監査 等	
8 有事・医療事故発生時における安全確保	事故時の治療連携、事故調査と報告書作成 等	

行動計画に沿った取組に対する第1回ベストアクション
発表・授賞式を実施

一般社団法人 医療安全全国共同行動

議長 小泉 俊三